

はじめに…。

平成23（2011）年3月11日に起きた東日本大震災と福島第一原発の過酷事故から、今年3月で9年間の歳月が経ちました。

私は、3月20日（金）から22日（月）の2泊3日の日程で、福島県と宮城県の震災遺構や、先日（4日午前0時）「帰還困難区域」の避難指示が一部解除された双葉町や、まだ解除されていない福島第1原子力発電所近くの国道6号線沿いの町、そして初めて訪れる気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼向洋高校の旧校舎と併設）を、自家用車で訪ねてきました（初日は移動のみ）。

そこで感じた気持ちや考えたことなどを、撮影した画像と一緒に紹介します。

2日目（3月21日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）①

① JR双葉駅の様子



東日本大震災の発生時刻（午後2時46分）
のまま止まった旧駅舎の時計。

② 駅近くの消防署 （シャッターがねじ曲がっていた）



「双葉町消防団第二分団」の時計も…。

2日目（3月21日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）②



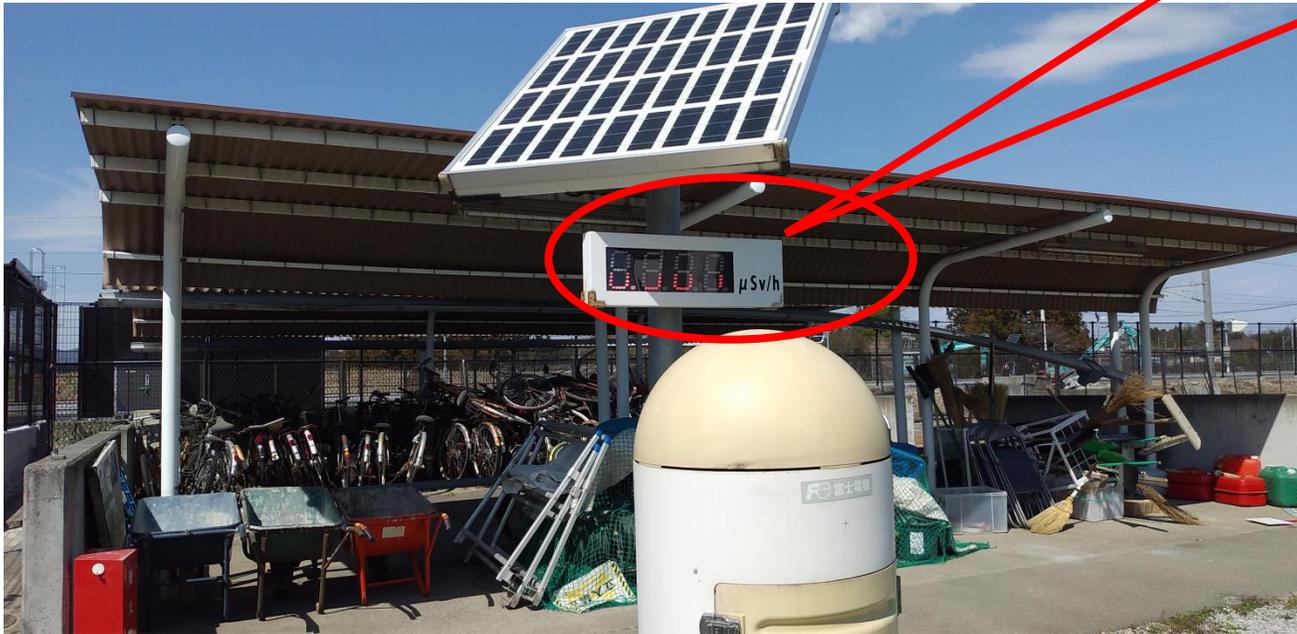
**駅構内のJR常磐（じょうばん）線路線図
最後まで残された富岡駅－浪江駅間が開通**

（令和2年3月14日）

帰還困難区域の避難指示一部解除
（令和2年3月4日）

2日目（3月21日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）③

駅の隣には、積み上げられた
自転車の山と**モニタリングポスト**



放射線量は、毎時**0.987マイクロシーベルト**
($\mu\text{Sv/h}$)。これはどのようなレベルなのか？

日本国政府による一般の人の被曝線量の
限度（除染目標）は、

「年間1ミリシーベルト。これを
地上1メートルの高さの空間線量に
換算すれば、毎時**0.23マイクロシーベルト**」

…ということは、

この日、この時間帯の双葉駅での放射線量に
限って言えば、国の基準の約4倍。

（原発事故当時は、**2.74マイクロシーベルト**）
だから、**まだ帰還そのものは禁止**されています。
つまり、**ここにはまだ住めない**ということ…。

2日目（3月21日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）④

①



聖火リレーは3月26日（木）に、双葉郡檜葉（ならは）町にあるJヴィレッジからスタートして、福島県内26市町村を3日間巡る予定だったが…**新型コロナウイルス感染拡大のため中止（延期？）**。

左の看板は、スポーツクラブのクラブハウス（右の写真）前であった。**玄関前の地割れが、生々しい。**

②



2日目（3月21日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）⑤

- ① 双葉町図書館
玄関のプレート
(ズームアップ)



- ② 「町民一人ひとりの復興」とは、
どういうことだろうか？

双葉駅ホームの反対（西地区）に立つ看板

2日目（3月21日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）⑥

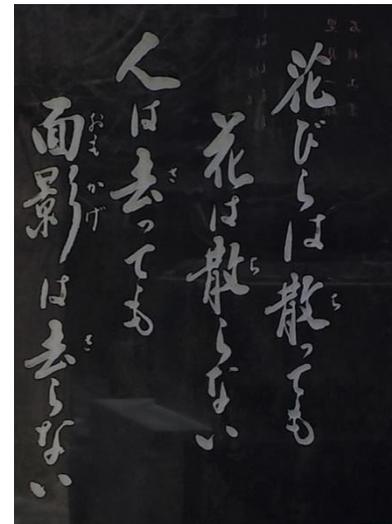


① 双葉駅前の
「消防用タンク」
に掲げられた
「合い言葉」？

ふたば、ふたたび
(ズームアップ)



② 地震で傾いたお寺
の境内に建てられて
いた石碑の言葉



「花びらは散っても
花は散らない
**人は去っても
面影は去らない**」

2日目（3月21日 土曜日）： 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）①



平成23（2011）年以前のカーナビで、今は旧校舎が震災遺構として残されている、**宮城県気仙沼向洋高等学校（県立高校）**を検索しました。

②



①

到着予想時刻が、17：05と表示されましたが、**震災後に作られた自動車道を使って、16：00前に到着**しました。

今回の研修旅行のメインが、ここです。気仙沼向洋高校の旧校舎と、併設になっています。一昨年は石巻市立大川小学校に、昨年は名取市立関上（ゆりあげ）中学校を訪ねました。

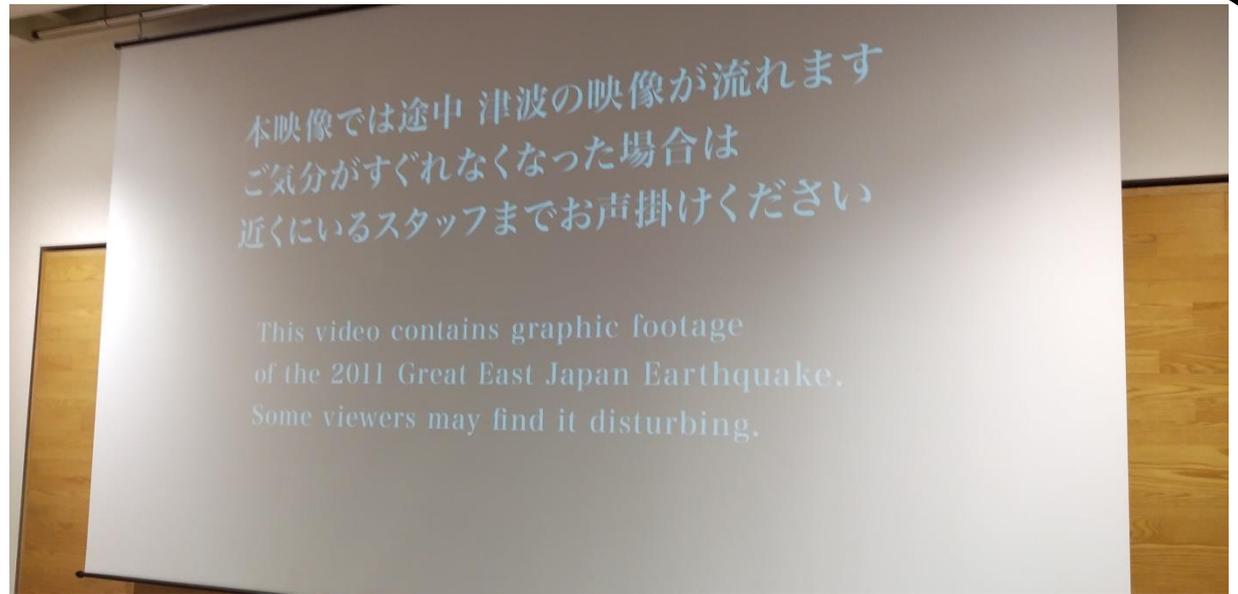
2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）②



① 向洋高校の旧校舎（■）と
伝承館の配置図（■）

（画像は <https://note.com/fumi10914/n/n0fe1b0943531> から）



② 最初に案内された「体験交流ホール」で、震災時および直後の記録映像（13分間）を見ました。「津波火災」という言葉を、初めて知りました。火の粉が舞って、雪が降っていました。

2日目（3月21日 土曜日）：

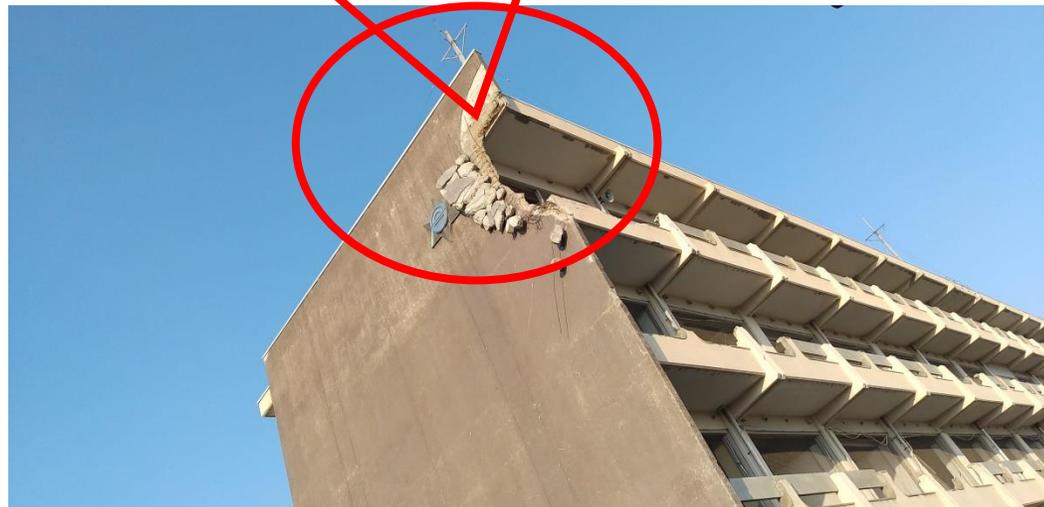
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）③



- ① 「展示コーナー」では、震災前後の気仙沼市の様子などがパネルで紹介されていました。一緒に入った家族の**父親が子どもに、「このあたりに家があったんだよ」と優しく語りかけていました。**

- ② 伝承館から旧校舎に入り、生徒玄関から外に出て撮影した写真。

南校舎の4階西端部分が崩れている。



2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）④

①



②



冷凍工場の激突跡



津波で流されてきた冷凍工場が、南校舎4階のベランダに激突しました。壁面は破損し、激突した方向に折れ曲がっています。

屋上には教職員をはじめ50名近くの方々が避難していたことから、正面衝突を免れたのは不幸中の幸いでした。

折り重なった車

津波は第1波、第2波、第3波と次々に襲い、その度に強力な「引き波」が、地上のものを海へと引きずりこみます。

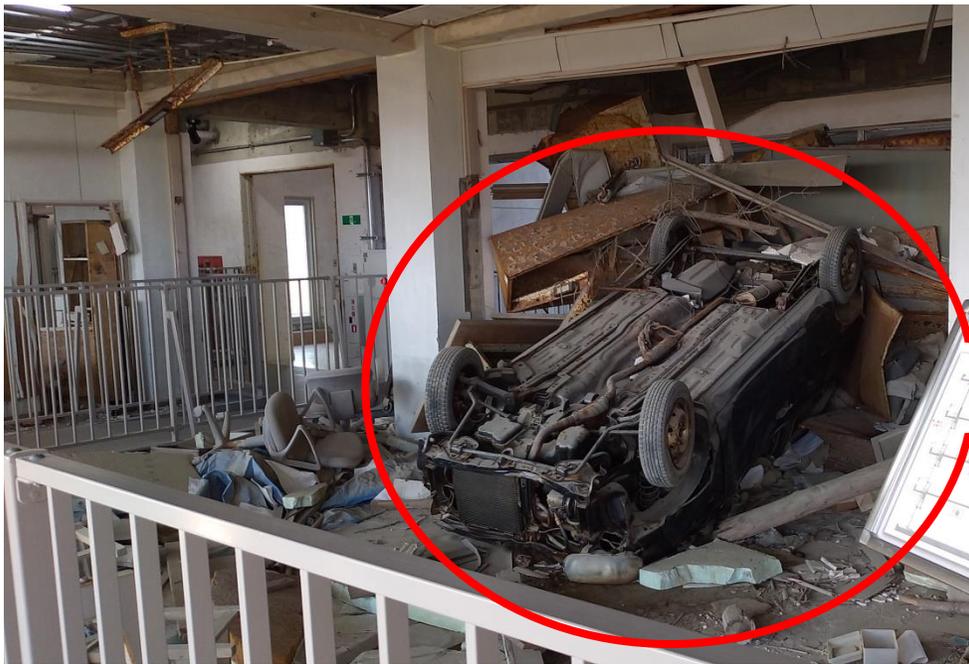
ここは引き波の通り道となり、流されてきた車がこの場所で引っ掛かって折り重なったものと考えられます。

写真は同じように引き波によって流されてきた家屋が、北校舎と生徒会館の間に挟まり、宙に浮いた状態となったものです。

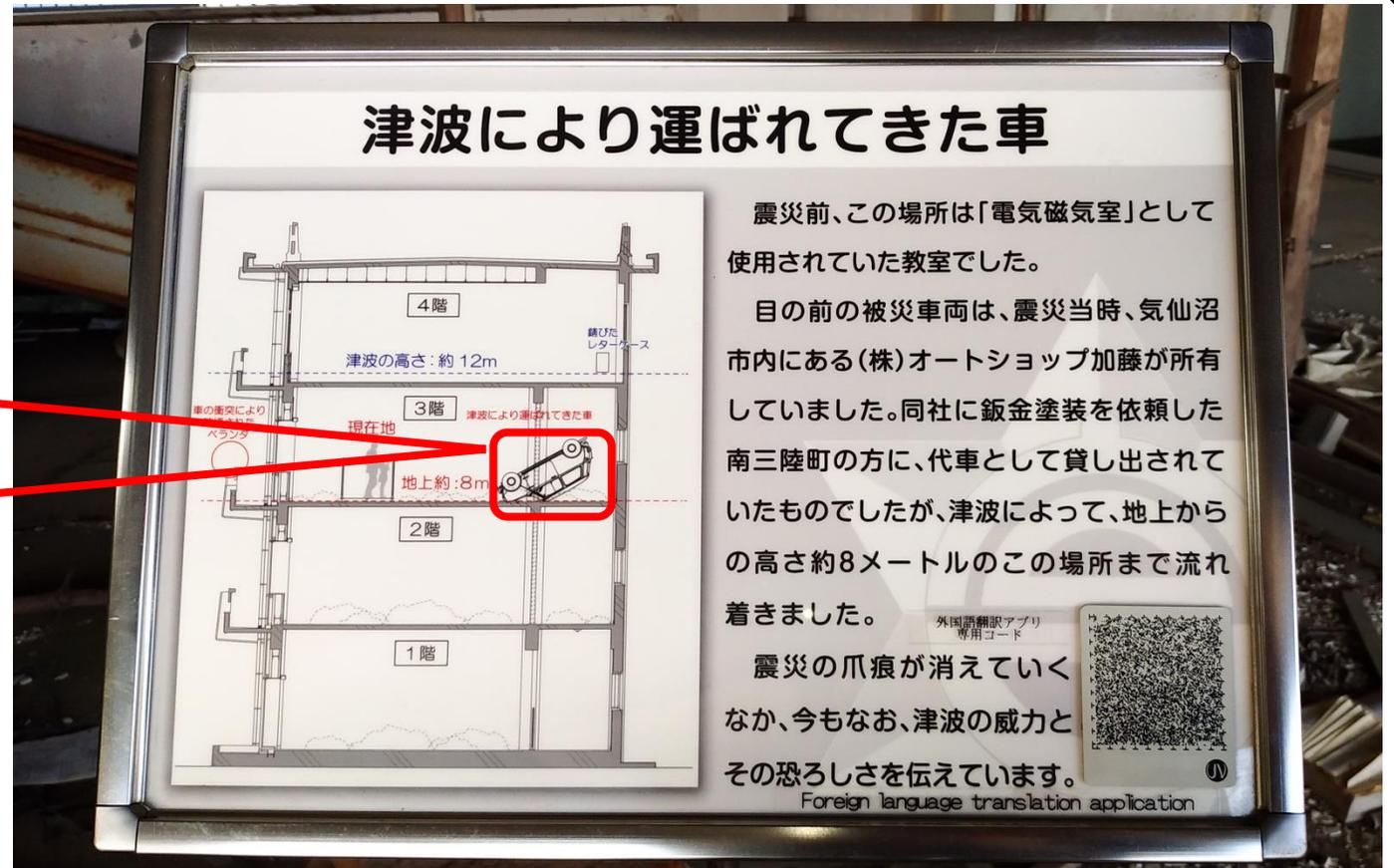


2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）⑤



「津波によって、
地上からの高さ約8メートルの
この場所まで流れ着きました。」



津波により運ばれてきた車

震災前、この場所は「電気磁気室」として使用されていた教室でした。

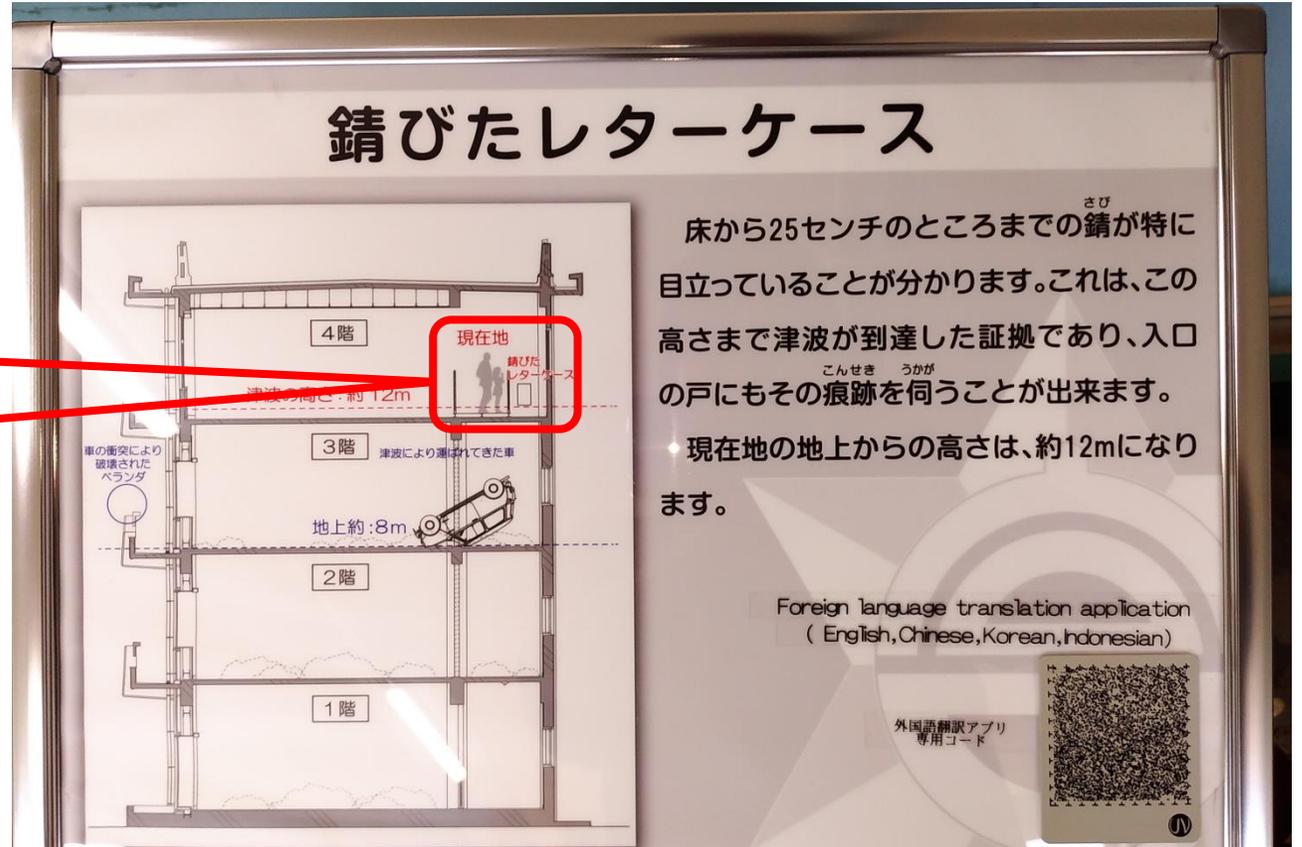
目の前の被災車両は、震災当時、気仙沼市内にある(株)オートショップ加藤が所有していました。同社に钣金塗装を依頼した南三陸町の方に、代車として貸し出されていたものですが、津波によって、地上からの高さ約8メートルのこの場所まで流れ着きました。

震災の爪痕が消えていくなか、今もなお、津波の威力とその恐ろしさを伝えています。

Foreign language translation application

2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）⑥



4階にあった職員室。

津波が12メートルの高さで校舎を襲ったことを、はっきり示しています。

2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）⑦



**津波で屋根をもぎ取られた
屋内運動場**
(屋根付きグラウンド)

津波に破壊される屋内運動場を、校舎の屋上から見ている気仙沼向洋高校の生徒達。



2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）⑧

屋上に避難した教職員と工事関係者



地震が発生した時、学校に残っていた170名ほどの生徒は全員避難所へ向かい無事でした。教職員20名は、重要書類などを保護するため、この南校舎に残り、北校舎の大規模改修工事を行っていた工事関係者25名とともに、最終的にこの場所に避難しました。

津波は幸いにも手前の冷凍工場などにぶつかることで勢いが抑えられ、到達したのは、4階の床から25センチのところまででした。その後、津波がぶつかった冷凍工場が校舎に向かって流されて来ましたが、校舎正面への直撃を免れた（4階西側のベランダに激突）ことも不幸中の幸いでした。

この机は、「少しでも高いところへ」と考えて行動した証を再現したものです。校舎へ避難した方々は翌朝、流れ着いたボートを引き寄せ、全員無事に脱出することができました。

Foreign language translation application
(English, Chinese, Korean, Indonesian)



冷凍工場の建物が激突した校舎4階西側のベランダと高校の校章

2日目（3月21日 土曜日）：

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）⑨

避難者が撮影した津波襲来時の中庭



津波は南校舎を正面から襲い、中庭にも侵入しました。どんどん水かさが増し、あっという間に中庭は見えなくなりました。

ここから見える中庭の「ヒバの木」は、卒業生が植樹したもので、津波に飲み込まれたにも関わらず、今もなお生きて成長を続けています。この後、写真中央に見えている渡り廊下も飲み込まれ、最終的には南校舎4階の高さまで到達しました。

Foreign language translation application
(English, Chinese, Korean, Indonesian)

外国語翻訳アプリ
専用コード



…その、
「今もなお生きて
成長を続けている」
ヒバの木です。

2日目（3月21日 土曜日）： JR石巻駅前居酒屋にて（宮城県石巻市）



「石巻かほく」は…石巻地方で発行する日刊紙です。古くから私たちの暮らしに寄り添ってきた、猫のように愛らしく、高すぎず低すぎない目線を大切にします。

(<https://www.kahoku.co.jp/special/spe1000/> より)



津波で水浸しの石巻駅前と駅舎（上）

今の石巻駅の写真（左）

スタンドグラスは「サイボーグ009」（石ノ森章太郎 作）

店のおかみさんが、「よかったら、見てください」と、『石巻かほく 特別縮刷版「3.11」を忘れない』を手渡してくれました。「ずっと読んでくれた人は、お客さんが初めてです」とおかみさん。「私は高校で、歴史や倫理を、子ども達に教えていますから」と答えました。

3日目（3月23日 日曜日）： 日和山公園にて（宮城県石巻市）①

日和山

Hiyoriyama

日和山は、松尾芭蕉、石川啄木、宮沢賢治など多くの文人墨客が訪れた、石巻のシンボルです。

目の前には広く太平洋が広がり、牡鹿半島、遠くには蔵王連峰、そして時には相馬地方の山並みまで見ることができます。そして春には桜、ツツジの名所として多くの市民が訪れる憩いの場所でもあります。

標高約56mの小高い山は、2011年3月11日の東日本大震災時、数えきれない人が避難した命の山となりました。そして避難してきた人々は、降りしきる雪の中、信じられない光景を目にします。高さ6mを超える大津波が目の前の街並みや車を押し流し、同時に発生した津波火災によって燃え上がる街の景色です。

人々は、絶望感とともに家族、友人の無事を祈りながら夜を明かしたのです。



2011年3月11日15時26分日和山公園 津波の様子を見る人たち

写真提供：(株)石巻日日新聞社

石巻市の被災者のうち死者数及び行方不明者数

直接死 3,060人 関連死 275人

（令和2年2月末現在）

「降りしきる雪の中、信じられない光景を目にします。」

3日目（3月23日 日曜日）： 日和山公園にて（宮城県石巻市）②

門脇、南浜

Kadonowaki, Minamihama

江戸時代、目の前には白砂青松の美しい海岸が広がっていました。

明治時代以後、農地の開墾が進み、昭和になり、北上川西岸に工業港が整備されると、パルプ工場をはじめとする多くの工場が立地し、門脇、南浜地区は急速に市街化が進み、石巻市立病院、石巻文化センター、そして、約3000軒を超える人家が立ち並ぶ街として発展しました。

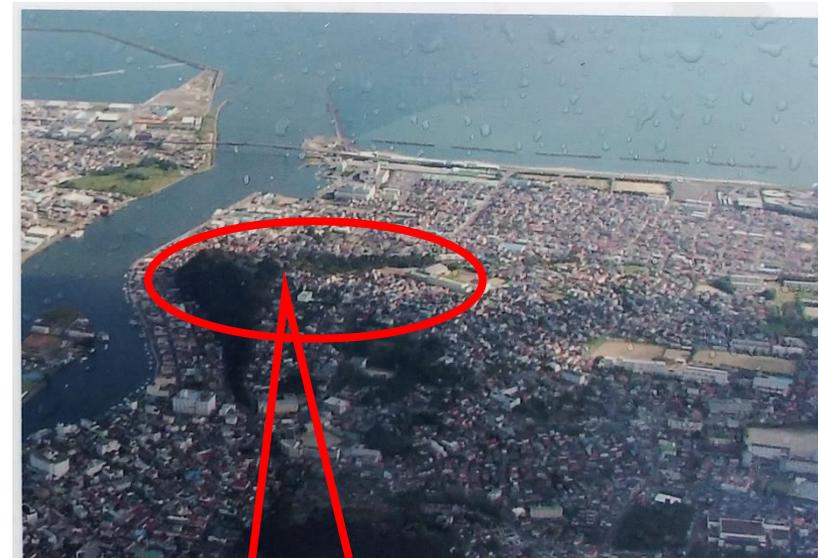
しかし、東日本大震災の大津波はこれらの家々を全て押し流し、同時に発生した津波火災が街を焼き尽くしました。

この地域は、災害危険区域として居住できない地域となりました。

現在、東日本大震災で亡くなった多くの方々の慰霊の場、震災を伝える場、感謝を発信する場として、国の祈念公園を整備することが決定しています。



石巻港 1997年(平成9年)撮影



日和山と人家が立ち並ぶ街並み 2009年(平成21年)撮影

ここが日和山公園です。

「石巻南浜津波復興祈念公園」の建設が予定されています。

この日、小雨が降っていて、その雨の雫（しずく）も、画像に写っています。

3日目（3月23日 日曜日）： 日和山公園にて（宮城県石巻市）③

①



被災した消防車と
石巻市立
門脇（かどのわき）小学校 ②

（画像は <https://www.flickr.com/photos/cxdsew32/5767746679> から）

震災当日、校内には240人の生徒が残っていたが、教師の誘導で裏山に避難した。津波の高さは6mを超えた。校庭に停めてあった保護者の車を含め、**多数の自動車が流された。やがて漏れ出したガソリンが引火して校舎は炎に包まれた（津波火災）**。津波と余震のために消火活動は出来ず、火災は3日間継続した。**震災では在校していた生徒は全員無事であったが、すでに下校していた生徒のうち7名が死亡した。**

適切な避難ができず、過半数の生徒が死亡した石巻市立大川小学校とは対照的である。
（ウィキペディアより。一部改変）



東日本大震災で津波に襲われ、火災で延焼した宮城県石巻市の旧門脇小学校が、震災遺構として保存されることになった。

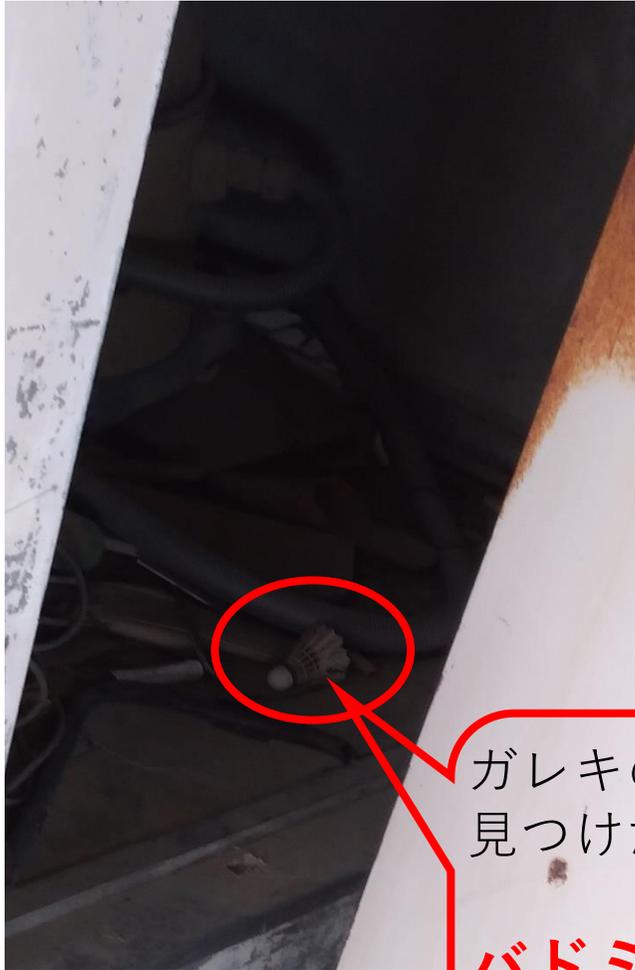
「見るのがつらい」と解体を望む地元住民も少なくなかったが、市が13日に説明会を開き、半分ほどを解体、残りを保存するとの計画を示し、住民側が受け入れた。

（<https://www.asahi.com/articles/ASK5F45GTK5FUNHB004.html> から）

最後に…。

①

地震と津波で散乱した教科書やプリント、そして…。(気仙沼向洋高校旧校舎)



ガレキの中に見つけた

バドミントンのシャトル



② 「男子シングルス (その4)」

**春季大会の
トーナメント表?**

③



学習指導要領